

広報

村のいとなみを伝えるマガジン

2022
No.642

11



しよわ



今月の表紙 2022.10.1

保育所レクリエーション会

10月1日、昭和村保育所において「レクリエーション会」が開催されました。秋晴れの下、保護者や家族も参加して、様々なレクリエーションに挑みました。

子供たちと大人が対決するゲームでは、大人も本気になって取り組んでいる様子でした。

小林政利さん 祝百歳

シニア向け デジタル講座開催

昭和村消防団秋季検閲式



小林政利さん（中向）が10月20日で満百歳の誕生日を迎えられました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、贈呈式は行われませんでした。が、入所されている昭和ホームでは、ご家族を招いたお祝いの会が行われ、福島県、昭和村、昭和村老人クラブ連合会、昭和村社会福祉協議会からの賀寿及び記念品が、施設長からご本人に手渡されました。



10月18日、すみれ荘において、「シニア向けデジタル講座」が開催されました。デジタル講座ーデジタルで便利に？難くなる？ここからの暮らしーと題し講座を開催しました。講座には、18名が参加し、デジタルが推進されている背景やコロナ禍で拡大したデジタルの活用などの例など、デジタルを活用すること、享受することができ「便利な暮らし」について理解を深めているようでした。今後は、11月と12月にスマホ教室を予定しています。

10月16日、昭和村小学校校庭で昭和村消防団秋季検閲式が、4年ぶりに新型コロナウイルスの感染対策をとり開催されました。

清々しい秋晴れのもと、団員は服装や車両の点検を受け、規律正しい統一のとれた動きを見せ防災への意識を高めました。

また、検閲に先立ち今年開催された福島県消防大会及び福島県消防協会津坂下支部幹部大会で表彰された受賞者が披露されました。受賞者は次のとおりです。

※階級は受賞当時のものです。

●福島県知事表彰

◎精勤章

◎永年勤続章

分団長 五十嵐 吉彦
団員 渡辺 幸一

●日本消防協会会長表彰

◎勤続章

班長 五十嵐 道夫

●福島県消防協会会長表彰

◎功績章

分団長 五十嵐 吉彦

副分団長 五十嵐 伸

◎精勤章

分団長 酒井 友規

◎退職団員感謝状

（二十年以上勤続）

元分団長 馬場 栄三

元団員 舟木 鶴雄

元団員 五十嵐 賢仁

元団員 菅家 隆宏

●福島県消防協会

会津坂下支部長表彰

◎精勤章

部長 長谷川 洋

班長 五十嵐 正富

班長 馬場 恵太

団員 星 憲雄

団員 横倉 竜太郎

団員 松田 学

団員 栗城 裕一



◎勤続章
班長 渡辺 文弘
団員 本名 寛之
◎退職団長等感謝状
元分団長 馬場 栄三
受章おめでとうございます。長年の消防任務のご尽力に感謝いたします。

日本で最も美しい村連合活動 新鳥居峠で清掃活動

10月15日、昭和村役場職員会による国道401号鳥居峠の清掃活動が行われました。

当日は、家族も含め36名が参加し、新鳥居峠の約3kmの区間でゴミ拾いを実施しました。

これは、本村が加盟する「日本で最も美しい村連合」のビューティフルデーの活動として実施されたものです。



ご寄贈



10月14日、昭和村出身で、千葉県佐倉市在住の羽染新喜様・つき様より、手作りの木製すべり台や木のおもちゃをご寄贈いただきました。

つみきクラブなど、子ども達に自由に遊んでいただけるよう、すみれ荘に設置いたします。誠にありがとうございます。

ニユースポーツ大会開催

10月11日昭和小学校体育館にてニユースポーツ大会を実施しました。2年目となるこの大会は、昭和村子ども会主催、老人クラブ連合会など村内5団体との共催で行われ、小学生及び60歳以上を対象とし26名が参加しました。

くじ引きで5チームに分かれ、スカットボール、囲碁ボール、ポッチャの3種目を行い、回を追うごとに白熱した試合となりました。「子どもの得点王」小学1年生の馬場ももかさん、「大人の得



点王」栗城邦子さん、総合得点で優勝した赤チームのみなさん（工碧生さん・郷田優介さん・栗城邦子さん・本名福一さん・渡部喜一さん）、おめでとうございます。

保健福祉課ではスカットボール・囲碁ボール・カーリンコン、社会福祉協議会ではポッチャ・輪投げ・ソフト

認知症サポーター

養成講座

9月30日、昭和村公民館において認知症サポーター養成講座を開催し、19名が受講されました。

講師に日本赤十字社福島県支部の伊藤万利子さんをお迎えし、認知症の症状や認知症の方への接し方など、解説動画を交えて学びました。後半には認知症予防のために、脳の活性化を図る後出しじゃんけんなどの手遊びを体験したり、簡単な運動で体を動かしました。受講者も楽しみながら認知症への理解を深めることができました。



交通安全鼓笛パレード

秋の交通安全運動にあわせ、9月27日に鼓笛パレードが行われました。

昭和小学校の児童が鼓笛演奏を披露し、役場前から小学校まで関係団体と一緒にパレードし、交通安全を呼びかけました。沿道には、児童の家族や保育所の子供たちが駆けつけ、写真を撮影したり、声援を送っていました。



交通死亡事故ゼロ3000日

9月20日、福島県交通対策協議会長表彰の伝達式が役場議場で行われました。

増子浩会津坂下署長など関係者が出席し、高野武彦県会津地方振興局長が村交通対策協議会長の舟木幸一村長に表彰状を手渡しました。

村では2014（平成26）年7月1日、自動車の転落事故で80代男性が亡くなって以来、交通死亡事故は発生していません。日暮れが早くなり、歩行者が見えにくい状況が多くなっています。夕暮れ時の外出には、反射材の着用、ドライバーも早めのライト点灯など、交通安全により一層ご注意いただき、今後も、この記録が更新できるよう村民一丸となって取り組みましょう。

ふるさと納税 — ご寄附いただいた皆様ありがとうございます —



令和4年9月25日 ～ 10月24日まで

【寄附件数】 15 件 【寄附金額】 27 万円

条例に基づき、上半期の財政状況のあらましをお知らせします
令和4年度上半期（4月～9月） 昭和村の財政状況

単位：万円

歳入

歳入科目	予算現額	収入済額	収入未済額		
村	税	9,706	7,257	2,449	
地	方	譲与税	3,333	817	2,516
利	子	割交付金	3	2	1
配	当	割交付金	14	6	8
株	式等	譲渡所得割交付金	13	0	13
地	方	消費税交付金	2,707	1,615	1,092
自	動	車取得税交付金	0	0	0
環	境	性能割交付金	230	67	163
法	人	事業税交付金	145	82	63
地	方	特例交付金	0	0	0
地	方	交付税	137,549	97,474	40,075
分	担	金及び負担金	7	2	5
使	用	料及び手数料	2,100	871	1,229
国	庫	支出金	19,688	4,371	15,317
県	支	出金	14,429	284	14,145
財	産	収入	127	39	88
寄	附	金	700	531	169
繰	入	金	26,315	0	26,315
繰	越	金	4,690	0	4,690
諸	収	入	2,093	514	1,579
村	債		23,069	0	23,069
合	計	246,918	113,932 (46.1%)	132,986 (53.9%)	

歳出

歳出科目	予算現額	支出済額	予算残額		
議	会	費	3,668	1,925	1,743
総	務	費	62,195	19,178	43,017
民	生	費	35,677	14,242	21,435
衛	生				

公民館日誌

○矢ノ原湿原勉強会 9月10日

二瓶重和さんを講師に迎え、遊歩道を一周して観察会を行いました。季節によって移り替わる様々な植物を観察した後、最後に森の中で目を閉じ、自然を体感しました。



○少年教室「木工教室」 9月24日

公民館において、少年教室「木工教室」を開催しました。講師に木工房 MEGURO（柳津町）の目黒照枝さんをお迎えして、杉の木材を使った本棚作りを教えてくださいました。

木材をノコギリで切り、印に合わせトンカチで釘を打ち、しっかり組み立てました。紙やすりで切った側面を滑らかに磨き、自由に絵を描き仕上げました。大工道具はなかなか思うように動かせず苦戦していましたが、次第にコツを掴み上手く使えるようになり、大工さん気分で楽しく制作出来ました。



○千歳学級「交通安全教室」 9月29日

秋の全国交通安全運動期間に合わせ、公民館で千歳学級「交通安全教室」を開催しました。講師に会津坂下警察署の交通課係長 櫻林仁さんと昭和駐在所主任 和知紘一さんをお迎えし、歩行者シュミレーターを用いて高齢者向けの内容でお話いただきました。

雨、雪、霧、夕暮れなど様々な状況の道路を横断する歩行疑似体験を行い、特に周囲が見えづらい夕暮れ時に歩行者が気をつけること、また車を運転する側が気を付けることなどを改めて確認しました。



○少年教室「陶芸教室」 10月1日

樹ノ音工房（会津美里町）において、少年教室「陶芸教室」を開催しました。

板づくりや手ろくろで粘土を成形してお皿やカップを作り、楊枝を使って絵を描き入れ、作品を色づける釉薬を決めました。作品の仕上がりを想像しながら、窯出しを楽しみにしている様子でした。



公民館日誌

○昭和学（地元学）講座（兼文化財講習会）

10月6日

菅家博昭さんを講師に迎え、松山地区で開催しました。ウルシの木、柿の木、梨の木など様々な日々の生活に密接に関係した昔ながらの木を観察し、村内の遺跡について学びました。



○千歳学級「社会見学会」 10月6日

喜多方市方面で、千歳学級の「社会見学会」を開催しました。赤城煙火店（塩川町）では、花火が完成するまでの製造工程を順を追って説明いただきながら見学し、実際に 10 号の大きな尺玉を持たせていただくなど、貴重な体験ができました。

勝常寺（湯川村）では、薬師堂の屋根の改修の為、収蔵庫に一同に安置された薬師如来座像様など素晴らしい国宝や国重要文化財の数々を間近で拝観しました。



Wi-Fi のむら

#06 センサーを用いたモニタリング(2)

村では、令和4年度から生活圏の屋外でのインターネット通信を無料で利用できる「公共インフラ Wi-Fi」の整備を段階的に予定しています。その普及にあたって、Wi-Fiについて、基礎から利活用も含めて隔月での連載を行います。

【お問い合わせ】総務課 企画創生係 0241-42-7717

センサーの活用で便利に

見守りに限らず、デジタル社会においては、センサーから得られるデータを活用することは重要です。

欧州では、様々なセンサーのデータを利用できる基盤がすでに運用されています。センサーから得られるデータを使って、民間の事業者がサービスを開発し、暮らしが便利になっています。

日本はというと、デジタル庁が今、頑張っ
てその枠組みを作っています。

例えばですが、河川の水位が規定より上昇した場合には警報を出す、電気柵の電圧が下がった場合には管理者に通知する、罾に獣がかかったら通知するなど、これまで人が確認していた作業などをセンサーが替わってくれることで便利になっていくだけでなく、農業では土壌の状態をセンサーで把握して、遠隔で水をやるなんてことも、技術的には

「相続登記をしないとどうなりますか？」

Q「先日父が亡くなりました。実家の土地建物は父の名義です。不動産の相続登記はいつまでにすればよいですか？また、相続登記をしないでくと、どのようなデメリットがありますか？」

A 現行法上（令和4年現在）、不動産の相続登記は義務ではなく、申請期限もありません。しかし、亡くなった方の名義のままでは建て替えも売却もできないので、いつかは必ず相続登記をしなければなりません。亡くなった直後であれば問題なくできていたはずの遺産分割協議が、時間が経って相続人同士の関係性や経済状況が変わると円滑に進まなくなることがあります。

また、長期間相続手続きをしないでいるうちに相続人が更に亡くなってしまい相続人が増えた結果、遺産分割協議が困難になったり相続登記にかかる費用が増大するケースもあります。

また、法改正により令和6年4月1日からは相続登記が義務化されます。正当な理由なく不動産の相続を知ってから3年以内に相続登記をしないと過料が科せられる可能性もあります。

不動産の所有者が亡くなったら、早めに相続人間で遺産分割協議を行い、相続登記をしましょう。

「あなたと家族をつなぐ相続登記」

https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00435.html

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

「福島県司法書士会」TEL 024-534-7502

「福島地方法務局」TEL 024-534-2045



高等工科学校生徒を募集します

募集職種	資格	受付期間	試験期日	将来の展望
高等工科学校生徒	推薦 男子中卒（見込含む）17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	令和4年 10月1日 ～ 12月2日	令和4年 1月8日～11日 ※いずれか1日を指定されます。	将来、陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成するため中学校卒業等を対象に採用する制度です。
	一般 男子中卒（見込含む）17歳未満の者	令和4年 10月1日 ～ 令和5年 1月6日	1次試験 令和5年 1月14日・15日 ※いずれか一日を指定されます。 2次試験 令和5年 1月26日～29日 ※いずれか一日を指定されます。	

応募先・詳しいお問い合わせ先 自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所
〒965-0825 会津若松市門田町黒岩字大坪57-1 TEL 0242-27-6724

アンニック が見た 昭和村

Showa Village
Watched by Annick

#22

外国人の疑問



外国語指導助手
アンニック先生

(原文)

Hello residents of Showa Mura,
I thought I would share common views
and questions foreign people have
about Japan.

1. Many foreigners think that kimonos are worn daily by most women. Foreigners also think that 'kimono' and 'yukata' are same thing. Kimonos are admired by most people worldwide, and they are surprised to learn that foreigners are allowed to wear them. Many people worry that they might offend Japanese people by wearing it, so they don't try renting kimonos.
2. Foreigners admire that school children clean their school each day, and that cleaners aren't employed. They also think it would be great to use in their schooling system. Foreigners are shocked that children travel to school by themselves. Many foreigners are worried about the dangers of children travelling alone, especially younger children.
3. Slurping while eating is considered rude table manners to most western people. So, foreigners are surprised that Japanese people slurp as they consume soup or noodles. (Most children envy this as they constantly are scolded by their parents to not make noise.)
4. Foreigners are surprised that people bathe in hot springs naked without swimming attire. (Guidebooks only show people wrapped in towels.) Foreign visitors often feel embarrassed to be seen naked.
5. Many foreigners visit the Hachiko statue. The movie 'Hachi: A Dog's Tale' is very popular overseas. Many people are touched by the true story. Even I watched it with my parents when I was younger.

What do you think about these views?
Did any surprise you?
Until next time.

~ Annick

(日本語訳)

昭和村の皆様、こんにちは。
今回は、外国人が日本に対して抱いている共
通の意見や疑問について紹介します。

1. 多くの外国人は、着物ほとんどの女性日常的に着ているものだと思っています。また、「着物」と「浴衣」は同じものだと思っている人もいます。着物は世界中のほとんどの人が憧れるものであり、外国人が着物を着てもよいことに驚きます。着物を着ることで日本人の気分を害してしまうのではないかと心配し、着物のレンタルをしない人も多いようです。
2. 小中学生が毎日学校を掃除していることや、学校で清掃員を雇っていないことに感心していて、自分たちの国の学校教育でもこの制度を活用できたらいいと考えているようです。また、子どもたちが自力で通学していることにも驚きます。多くの外国人は、子どもたち、特に小さい子どもが一人で出歩くことの危険性を心配しています。
3. 食事中に口をすぼめることは、ほとんどの西洋人にとって失礼なテーブルマナーと考えられています。だから、日本人がスープや麺類を食べるとき、すすむことに外国人は驚きます。(音を立ててはいけないと親に注意されているので、ほとんどの子どもは日本のこの習慣をうらやましがります。)
4. 温泉に入るとき、水着を着ずに裸で入ることは驚きです。(ガイドブックにはタオルを巻いている姿しか載っていません。)外国人観光客は、他の人に裸を見られるのを恥ずかしいと感じることが多いようです。
5. ハチ公像には多くの外国人が訪れます。映画「ハチ公」。海外では映画「Hachi: A Dog's Tale」が大人気。実話に感動する人がたくさんいます。私でさえ、若い頃、両親と一緒に見ました。

これらの意見について、どう思われますか？何か、驚かれたことはありましたか？

では、また次回。

~アンニック

【連載】新史料紹介

野尻組の「麻」「からむし」

（第106回）

昭和村文化財保護審議会委員長

菅家 博昭（大岐）

地域に学ぶ大学生

新型コロナウイルスの3年間、終わりは見えないが、徐々に日常が戻ってきている。10月1日にJR只見線が全線開通（復旧）を見据え三島町での工人祭りが再開した。様々な催事が再開されてきている。しかしその内実は変化している。

9月、東京大学資源経済学研究室と成城大学（2年生）がそれぞれに

来村し現地演習（フィールドワーク）等が行われた。村産業建設課（かすみ草）・教育委員会（文化財）等が担当され私もそれぞれの日程で学生たちと懇談した。

日本民俗学を創設した柳田国男が在籍した東京世田谷の成城大学。昭和村には及川祥平准教授が学生を引率されて来村さ

れた。私は9月7日に喰丸小（観光交流施設）ではじめて及川先生にお会いした。北海道大学から4月に成城大学に移られた文化人類学の田本はる菜さんも専任講師で在籍されている。及川先生から田本さんを紹介いただき10月31日の金曜日に成城大学を訪ね田本さんと話をする事ができた。

田本さんは沖縄県のご出身の若い研究者で、筑波大学で学ばれた。台湾の少数民族のからむし織りの調査をされている。それは『山地のポスト・トライバルアート 台湾原住民セデックと技術復興の民族誌』（北海道大学出版会、2021年5月

刊）に詳細がまとめられている。本年2月に本書を購入し何度も読み返し、是非お会いして話を

してみたいと考えていた。

昭和村の織姫制度30年になるなかで、私は福井大学の東村純子さん（考古学）と、成城大学の田本はる菜さん（文化人類学）を、村からむし振興室に推薦した。からむしを含む繊維植物等のアジアでの歴史（東村さん）、手仕事の未来（田本さん）に語ってほしいからだ。田本さんのご主人は東京電力が放出した放射能の土壌汚染の研究者で福島市に滞在し研究をされ現在つくば市の農研機構に在籍されている。東村さんも田本さんも、自らの意思で「からむし工芸博物館」を訪問されている。田本さんは「世界の苧麻園」を高く評価されている（台湾のからむし品種がある）。

さて、本年9月2日から月曜・金曜の週2回、10月28日まで17回、ナチュラル・セレクション（選別しない花）をコンセプト

トとして東京都中央卸売市場の大田市場花き部の仲卸・中央花卉の店頭で、大岐集落内にある野草を含む露地草花類を出品・即売した。これは8月24日に同社の中谷隆敏さんが来村され懇談のなかでトライアル（実験）として行うこととなった。9月12日午前5時、10月21日午前5時、28日午前4時と上京し店頭で参与観察を行った。また購入者（フラワーデザイナー、スタイリスト等）からお話

しもお聞きした。我が家で栽培している植物からむしの2番苧を60cm5本束で数束を毎回出品しているが、すべて完売している。用途はレッスン（花の教室）、生け込み（店頭ディスプレイ）に使用されている。

10月21日の店頭調査後、成城大学に行ったのだが、首都東京は、野草を求めて、それを店頭でディスプレイ、販売する生花店

が増えている。戦乱の時代に、花は最も必要とされ、そして輸入植物が為替の関係で高値となり国産の農産物が見直される時代に戻っている。本年、かすみ草は6億円にせまる販売高（過去にない売上高）になる。



▶写真は、東京大学資源経済学研究室が大岐に9月13日に来村された時のもの

地域おこし協力隊

松尾 悠亮

新しく発見された古文書の紹介①

「御触面品々御用控帳」について

第35回は、「御触面品々御用控帳」（縦帳1冊、明治2年巳正月写し船木金右衛門）という昭和村で新しく出てきた古文書をご紹介します。

(1) 「御触面品々御用控帳」と戊辰戦争後の昭和村

「御触面品々御用控帳」には、明治元年（1868）3月（辰三月）～11月にかけて、太政官・下野国（日光）知県事役所・田島民政局から出された諸布達（折紙）が書かれています。また、一紙（折紙）挟まっています、その紙には、4つの定書（うち3つは所

謂「五榜の掲示」の第一札、3札と一致、第4・5札は「御触面品々御用控帳」に書かれている）と、西軍先鋒から明治元年9月（辰九月）に出された布達（官軍の中にどさくさに紛れ乱暴をはたらく者がいた場合は切り捨てても構わない）が書かれています。

慶応4年（1868、明治元）、相次ぐ政争に負け京都を追われた会津藩は、「朝敵」赦免を求めて奥羽越列藩同盟に加盟し新政府軍に対抗しようとして試みましたが、結局明治元年（1868）9月22日に新政府軍に降伏することになりました。会津降伏の情報は野尻組（現昭和村）まではすぐに伝わらなかったよう、その2日後の24日、大芦で旧会津と新政府の間で戦いがありました。10月1日、新政府の統治機関である若松民政局が設置され、民政局から若

松県へ切り替わる明治2年5月まで、野尻組は田島民政局（若松民政局の分局）に統括されました。

「御触面品々御用控帳」の末には「明治2年巳正月写し船木金右衛門」とあり、会津藩から民政局へ移り変わっていく時期である明治2年1月に舟木金右衛門が、新政府側の諸布達を写しまとめたものであることが分かります。

(2) どのような布達が出されたのか

「御触面品々御用控帳」には、御一新になったので新政府に従うようにといった政治的な布達や人々の日常に関わるような様々な布達（折紙）が書かれています。

例えば、（明治元年）11月の田島民政局からの布達は「百姓町人苗字帯刀一切御停止候事」とあり、江戸時代は一部の百姓町人に特権的に認められていた苗字帯刀が、民政局により完全に禁止されたようです。また、三役人（村役人）からの布達（おそらく民政局から村民へ伝えるようにと命じられていたもの）の雛型も写されていて、提灯等へ私に紋を入れてはいけない、猟師の鉄砲は従来通り鑑札を得てから所持すること、尾岐郷で起こった一揆に関わった者がいたら隠し置かず報告すること等が書かれています。

められていた苗字帯刀が、民政局により完全に禁止されたようです。また、三役人（村役人）からの布達（おそらく民政局から村民へ伝えるようにと命じられていたもの）の雛型も写されていて、提灯等へ私に紋を入れてはいけない、猟師の鉄砲は従来通り鑑札を得てから所持すること、尾岐郷で起こった一揆に関わった者がいたら隠し置かず報告すること等が書かれています。

まとめ

舟木金右衛門は、なぜ「御触面品々御用控帳」という写しを作成したのでしょうか。写しがわざわざ作られたということは、書かれている情報が大それた認識されていたということになります。会津藩から民政局へ統治機関が移ったことは、当時からそれだけ重大なことで認識されていたのかもしれない。

【画像】

御触面品々御用控帳

「御触面品々御用控帳」は、菅家和孝さん（下中津川）から、寄贈していただきました。

今回は寄贈していただいたもう1点の古文書を紹介します。



警察署からのお知らせ

増えてます。自転車泥棒。

自分の自転車を守るために、 ツーロック！

会津坂下警察署管内では、昨年と比べて、今年は自転車を盗まれる被害が多発しています。

主な発生場所は 駅の駐輪場で、無施錠の自転車が狙われる傾向にあります。

自分の自転車を守るためにも、駐輪して自転車から離れる際には、2つの鍵を掛ける **ツーロック** を心がけましょう！



昭和村内街頭犯罪等発生状況

(令和4年9月末現在)

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣		
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	7	
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり	1	
部品ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	10	0
その他刑法犯等	39	5
全刑法犯	49	5

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和4年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

秋季全国火災予防運動

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

秋も深まり、朝晩の冷え込みも一段と強くなってきた今日この頃、火を使う機会も多くなりますね。

さて、11月9日～11月15日までの間は、秋の全国火災予防運動が実施されます。秋から冬は空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節です。一人一人が防火意識を高く持ちましょう。

●暖房器具の取り扱いに注意

寒くなりストーブ等で暖房を行うことが多くなると思います。周囲に燃えやすい物を置かないようにし外出時は必ず火を消しましょう。暖房器具は十分注意して使用してください。



○放火等による火災を防ぐ5つのポイント○

放火されない、させない、されても拡大しにくい環境を作るために、「放火防止5つのポイント」を実践して、個人地域の両方から対策しましょう。

- ①車庫、物置などは必ず鍵を掛けましょう。
- ②ごみは決められた収集日の朝に出しましょう。
- ③家の周囲は常に整理整頓し、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ④外灯などで家の周囲や駐車場を明るくしましょう。
- ⑤皆で声をかけあって、地域の見守りをしましょう。



火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

＋ 11 月の休日当番医 ＋

11月3日(木・祝) 荒井医院

☎ 0242-83-2224 (会津坂下町)

6日(日) 遠山眼科医院

☎ 0242-83-2011 (会津坂下町)

13日(日) もこぬま内科消化器科医院

☎ 0242-56-5622 (会津美里町)

20日(日) 坂下厚生病院

☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)

23日(水・祝) こばやしファミリークリニック

☎ 0242-55-0388 (会津美里町)

27日(日) 柳津町国保診療所

☎ 0241-42-2334 (柳津町)

次回広報発行までの間の休日当番医を掲載
します。通院の参考にして下さい。

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和4年9月1日～9月30日受付

● お誕生おめでとうございます

高橋 ^{かなな} 葉南 ちゃん (侑也・彩奈) 小中津川

● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

● おくやみ申し上げます

酒井 キク さん 95歳 小中津川

栗城 昭夫 さん 94歳 小中津川

五十嵐 ヨシミ さん 97歳 小中津川

船木 ミスエ さん 91歳 小中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は
届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和4年10月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,157 人 (－10)	出 生	1 人
男	560 人 (－3)	死 亡	4 人
女	597 人 (－7)	転 入	2 人
世 帯 数	640 戸 (－4)	転 出	9 人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

★ 11 月の行事予定

○11月30日(水) 9:30～ 乳幼児健診

新型コロナウイルス感染症関連情報

県内の感染状況は、依然として多くの感染者が確認される状況が続いています。いつでも、誰でも感染する可能性がありますので引き続き、基本的な感染予防対策をお願いします。

<濃厚接触者とは>

*感染者の同居家族は、接触の有無に関わらず「濃厚接触者」となります。

*感染した方の症状が出た日、または検査した日の前日から2日前に、マスクなしで1m以内の距離で、15分以上接した方は「濃厚接触者」となります。

<濃厚接触者となった場合>

感染した方と最後に接した日の次の日から5日間は自宅待機になります。

仕事や学校等を含む不要不急の外出を控え、自宅内でも感染対策に十分注意して過ごします。

<感染への不安があり症状がない場合(濃厚接触者も含む)>

村では無料PCR検査を実施していますので保健福祉課までお問合せください。

*その他、新型コロナウイルス感染症に関する相談やお問合せは【保健福祉課】まで57-2645(24時間対応)

交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。

●●●● 日目
(10/26時点)

◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 国民健康保険税 5期
 - ◎ 後期高齢者医療保険料 4期
 - ◎ 介護保険料 5期
 - ◎ 上下水道使用料 4期
- 〔納期限：令和4年11月30日〕

地域のしあわせづくり活動紹介「音楽で心も体も温かく」

10月23日、喰丸小で音楽療法士の星明正さんと、ほうき星☆さんによる「喰丸小フォーク村♪うたと演奏会♪」が開催されました。

両演奏者によるユーモアのあるトークもあって、全員で歌ったり、歌に合わせて体を動かす時なども笑いに包まれていて、とても和やかな雰囲気でした。

イチョウの木が色づき、肌寒く感じる日でしたが、会場の皆さんの心と体はポカポカになったことと思います。

生活支援コーディネーター 和泉・小林



村民・村外（昭和村にご家族・ご親戚がいらっしゃる方）のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、全戸配布文書及び昭和村ホームページ特設ページにて情報をお知らせしています。

新型コロナウイルス感染症特設ページ（スマートフォン対応）

<https://www.vill.showa.fukushima.jp/covid19/>



はた音

日に日に、早くなる日暮れと、朝晩の冷え込みが次の季節の訪れを感じさせます。

今年は、大雪なんて報道がありますが、実際どうでしょうか。

よく言われるカメムシの量や、カマキリの卵の高さを考慮すると、そこまで多くないのではと、個人的には思っています。

あたりを見回すとみなさん、せかせかと秋仕舞をして、降雪に備えているようです。

他の地域では、例年より早い冠雪も確認されているので、降雪は例年より早いかもしれませんね（こ）

昭和村民憲章

一、伝えましょう
はた音の響き
手技の智恵

一、守りましょう
おいしい水
豊かな大地

一、創りましょう
健やかな心と体
長寿の里

一、育てましょう
助け合う心
いたわりの気持ち

一、広げましょう
明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp